

1・2

2023 令和5年

No.201



あすけ
支所だより



絵描き・柄澤照文と足助

絵を懸け橋として、人とつながる。



香嵐溪もみじまつりにて。
毎年、多くの顔なじみが柄澤さんを訪ねにくる。

塩の道を旅して

「古くから岡崎とつながりのある街道を旅することで、岡崎を外から見つめ直したいと思ったんです」。

岡崎市で育った柄澤昭文^{からさわてるふみ}さんは、区画整理など町並みの急激な変化に触れ、自分たちが住む町のことを考えてみたいとの思いからミニコミ誌を発刊し、町並みや庶民の生活をペン画で記録していました。

その中で、岡崎のことをより深く知るために、35歳のときに岡崎と飯田をつなぐ「塩の道」を旅しました。道中、足助の人々と深く関わる中で、今に続く交流が始まります。「温かく受け入れてくれる、面白い町だなと思いました」。

菅江真澄・松浦武四郎を追う

江戸後期の旅人・菅江真澄^{すが え ますみ}、そして幕末から明治期の探検家・松浦武四郎^{まつうらたけ しろう}の足跡を追って信州、東北、北海道を旅した柄澤さんは各地でスケッチを通して地元の人々と関わってきました。

「旅をして、他の町並みや人の暮らしに触れることで、改めて地元の良さに気づくことがあります。豊かさとは何なのか、真澄や武四郎も旅の中で考えたかもしれませんね」。



菅江真澄(左)
江戸後期の紀行家、博物学者、随筆家。三河地区出身。東北、北海道を旅し、数多くの日記、地誌を残した民俗学の先駆者。

【資料提供：大館市立栗盛記念図書館】

松浦武四郎(右)
幕末から明治期の探検家、地誌学者。現三重県松阪市出身。北海道を探查し、アイヌ文化を研究。北海道(北加伊道)の名付け親。

【資料提供：松浦武四郎記念館】



人々の暮らしを描き残す

「今でもそうですが、画家になろうと思っていたわけではないんです。日々の暮らしを記録し、人に伝える手段として、自分の場合、文字より絵がよかったというだけなんです」。

市井の人々と触れ合い、記録し、絵を介して人と共感する。柄澤さんが足助の暮らしを描き残したのも、足助が歴史的に商家、農家を中心とした庶民の町だったからかもしれません。

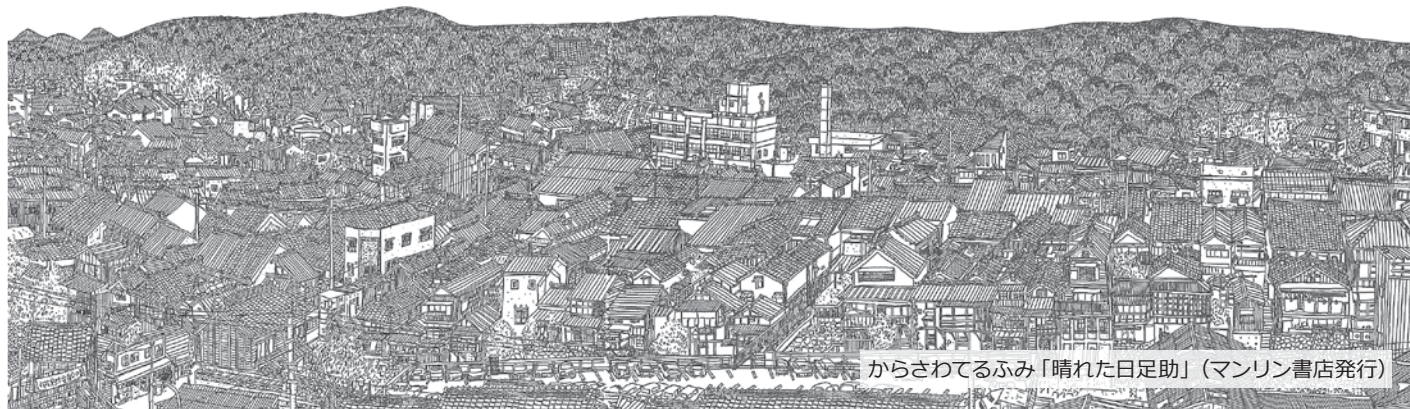
旅を通して足助を知り、足助を通して地元を見つめ直した柄澤さん。柄澤さんが描く日常は、変わりゆく暮らしの中でそれぞれの豊かさとは何かを問いかけてくれるはずです。



柄澤昭文(からさわてるふみ)


ペン画家。1949年生まれ。日本の農山村や下町の風景を細やかなペン画や柔らかなイラストで描く。

代表作に足助や岡崎の町並みを描いた屏風絵があるほか、本紙の表紙絵を手掛ける。



からさわてるふみ「晴れた日足助」(マンリン書店発行)

あすけ 羅針盤

あすけ  羅針盤は、“あすっち”こと、足助地域会議委員が足助の魅力や元気な活動をお届けします。今回は足助を愛する3名の“あすっち”と、わくわく事業について紹介します。



鈴木 直樹 学校関係（月原町）

足助地域会議委員として3年目、足助中学校長4年目となりました。来年度はどちらもいよいよラストイヤーです。

毎週水曜日の夜に、教え子たちとバスケットをするのが楽しみです。最近は、プレイするよりも見ている時間がだんだん長くなっています。



三木 譲治 区長会推薦（国谷町）

はじめまして、地域会議委員の三木です。

平成24年に「わくわく事業」の援助を受け、しのぶえ篠笛で地域を活性化しようというユニークな企画で、篠笛チーム「きら煌」を発足させたメンバーの1人です。

あれから20年が経とうとしています。コロナで数年活動できていませんが、まだ頑張っています。

今度は、地域会議委員としてお役に立てればと思っています。



中根 明美 社会福祉協議会推薦（富岡町）

若かりし頃は音楽教育（ピアノ、声楽）に明け暮れ、現在は社会福祉協議会足助支所で介護予防のミニデイの担当をしています。

またベルの会「すずらん」としてのボランティア活動も充実させています。

これからもずっと魅力ある町「足助」が続きますように、足助の伝統を守り、町の活性化に努めていきます。



今年度のわくわく事業における新規団体4団体の中から、活動内容を紹介します。

わくわく事業紹介

ブルボン
Burupon

Burupon Farm (ブルポン農園) 整備事業

・遊休農地（約2,600㎡）を活用した「Burupon Farm」を開設し、農園を拠点とした農業体験やセカンドスクールなどを通じて、都市部に住む若い世帯と里山がお互いに助け合いながら、心の豊かな暮らしの実現を目指します。

活動紹介（稲作体験・遊休農地の復旧作業）



新盛町を拠点に、農園予定地の草刈りや畦の復旧などほ場基盤整備を行ったほか、田植えや稲刈りなど農業体験を通じて技術習得を図りました。

活動状況については、フェイスブックやインスタグラムをご覧ください。

Instagram



令和5年度（2023年度）わくわく事業を募集します

わくわく事業は「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組んでいる団体の事業を支援する制度です！

もっと住みやすく、魅力たっぷりの足助を地域の仲間と作ってみませんか？

【募集期間】

令和5年（2023年）1月31日（火）まで

▶補助制度の詳細、申請様式は市ホームページをご確認ください。

足助地区
わくわく事業
ホームページ ▶



【相談・申込み・問合せ先】
豊田市役所足助支所 地域振興担当 川口・花園
電話：62-0601 FAX：62-0606
E-mail：asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp



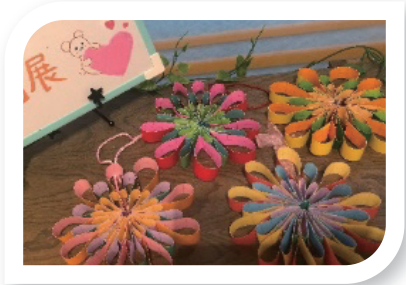
こんにちは！ 足助包括です。

一人で買い物もできる。一人で出かけることもできる。けれども運動する機会がない、話をする相手がない、介護を受ける必要はないけど、介護予防をしたい。

介護予防・生活支援サービス事業 をご存じですか？

包括支援センターの職員が実施するチェックリストに該当した方が受けることのできる、介護予防・生活支援サービス事業です。上手に活用することで、自立した生活を続けることができます。

2月はお休みです



※チェックリストとは：日常生活の状況や足腰の状態、栄養状態、お口の状態、閉じこもりやもの忘れの有無、最近2週間の気持ちなど、25項目の質問等により心身の状態を確認するものです。

毎月第3日曜日9：30～12：00に新田町駐車場にて足助マルシェが開催されます。足助包括もさまざまな催しを行っておりますのでぜひお越しください。

【問合せ先】足助地域包括支援センター（足助病院内） 62-0683（直通）

社協だより ほほえみ

傾聴ボランティア養成講座を開催します！！

傾聴ボランティアをご存じでしょうか？ 豊田市内在住の一人暮らし高齢者などを対象に、相手の話を聴き・受容する活動を行うボランティア活動があります。現在、足助在住のボランティアが減少しています。「誰かのために何かしてみたい」「人の話を聞くのが好き」「傾聴に興味がある」と思われた方、ぜひ傾聴ボランティア養成講座に参加してみませんか？？？ お気軽にお問い合わせください。

日 時	令和5年1月16日（月） 午前9時～正午	
会 場	足助まめだ館 会議室（足助町東貝戸10）	
内 容	活動紹介、ロールプレイなど 講師：じっくり傾聴チーム 樋渡 裕子氏、岸本 麻衣氏	
参加対象者	足助地区に在住・在勤で講座終了後の交流会に参加可能な方	
定 員	10名程度	
申込・問い合わせ先	豊田市社会福祉協議会 足助支所 電話：62-1857 担当：川上	

「豊田市電子図書館」を使ってみませんか？

豊田市電子図書館は、インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレット等を利用して、電子化された書籍等を読むことができるサービスです。

来館が難しい人も「いつでも」「どこにいても」読書を楽しむことができます。

豊田市中心図書館ホームページから、約1,000点のコンテンツが利用できます。これからも書籍は増えていきますので、お楽しみください。

- ☆ 利用できる人……………豊田市内在住・在勤・在学で図書館の利用カード（有効期限内）をお持ちの人
- ☆ 貸出し点数・期間………2点まで、2週間
- ☆ 利用できる電子書籍…絵本、児童書、家事・料理、育児、趣味、お金、小説など

詳細はこちらの
QRコードから →



【問合せ】豊田市中心図書館 32-0717

SERI NAZUNA GOGYOU HAKOBERA HOTOKENOZA SUZUNA SUZUSHIRO



- と き 令和5年1月7日（土）午前11時から
※約500杯。なくなり次第終了
- ところ 足助八幡宮（駐車場は足助支所駐車場をご利用ください）
- 内 容 1年間の無病息災を願い、七草粥を無料で提供します。
八幡宮にはお守りやおみくじ、御朱印があります。
- 問合せ 足助観光協会 ☎62-1272



SERI NAZUNA GOGYOU HAKOBERA HOTOKENOZA SUZUNA SUZUSHIRO



足が助かる！足助地域バス

スクールバス下校便時刻表

地域バスとしてどなたでも利用可能です。



<下校便始発乗場>

佐切・平折線、岩谷・冷田線、中立線…足助中学校発
上記以外の路線…足助高校発

※下校便は足助病院・名鉄バスセンターを経由しません。
※出発時刻を予告なく変更する場合があります。

令和5年1月

日	曜日	下校時刻	日	曜日	下校時刻
1	日	運休	16	月	15:15
2	月	運休	17	火	16:30
3	火	運休	18	水	16:30
4	水	16:30	19	木	15:15
5	木	15:15	20	金	16:30
6	金	16:30	21	土	運休
7	土	運休	22	日	運休
8	日	運休	23	月	15:15
9	月	運休	24	火	16:30
10	火	16:30	25	水	16:30
11	水	16:30	26	木	15:15
12	木	15:15	27	金	16:30
13	金	16:30	28	土	運休
14	土	運休	29	日	運休
15	日	運休	30	月	15:15
			31	火	16:30

令和5年2月

日	曜日	下校時刻	日	曜日	下校時刻
1	水	16:30	16	木	15:15
2	木	15:15	17	金	16:30
3	金	16:30	18	土	運休
4	土	運休	19	日	運休
5	日	運休	20	月	15:15
6	月	15:15	21	火	16:30
7	火	16:30	22	水	16:30
8	水	16:30	23	木	運休
9	木	15:15	24	金	16:30
10	金	16:30	25	土	運休
11	土	運休	26	日	運休
12	日	運休	27	月	15:15
13	月	15:15	28	火	16:30
14	火	16:30			
15	水	16:30			



農地に家を
建てたい方へ

自分の農地に新しく家を建てたい
何から手を付けたいの？
どんな手続きが必要なんだろう？



相談窓口をご活用ください！

行政書士による無料相談窓口

豊田市では所有する農地に住宅を建築する際の相談窓口を設けています。この窓口では、愛知県行政書士会豊田支部に所属する行政書士からアドバイスを受けられます。お困りの方は是非ご相談ください。

対象者 足助、旭、稲武、小原、下山地区に所有する農地に家を建てたい方

相談内容 所有農地に住宅を建築する手続きに関すること

相談料 初回のみ無料 ※相談者負担で用意していただく書類があります。

申込み 対象地内の各支所の窓口及び電話

いつもお読みいただきありがとうございます。今後もよりよい支所だよりをお届けするため、ご意見・ご感想・ご要望などいただければ幸いです。以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。



人口と世帯数（令和4年12月1日現在）
人口 7,063人 世帯数 2,794世帯
令和4年度合計 出生10人 死亡103人

発行：豊田市役所足助支所 〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2
電話：市民生活担当 ☎62-0600 地域振興担当 ☎62-0601
FAX 62-0606 ✉asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

